

# 施策マネジメントシート（令和 5 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	6	政策名	子どもが自分らしく笑顔で育っていけるまち
	施策 No.	3	施策名	青少年の健全育成
施策主管課	生涯学習課		施策関係課名	教育総務課・学校教育課・保育幼稚園課・防災対策課

## 1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)						
青少年		心身ともに健やかにたくましく成長する						
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因 1) 概ね達成。目標値25.0%にはわずか届かなかったが、前年度(令和4年度)比2.2ポイント増となった。コロナの5類移行に伴い、地域での活動も再開されたことで「地域との関わりの中で、子どもたちが心身ともに健やかにたくましく成長していると思う市民の割合」は上昇傾向でコロナ禍以前の値に持ち直してきているものと推測する。
1	地域との関わりの中で、子どもたちが心身ともに健やかにたくましく成長していると思う市民の割合	%	目標値 実績値 達成率	24.5 22.2 90.6%	25.0 24.4 97.6%	25.5 25.0 100%	26.0 25.0 96.2%	
2	(参考) 刑法犯少年(触法少年含む)の人数(小城署管内)	人	目標値 実績値 達成率	— 3 —	— 9 —	— 9 —	— 9 —	
3	(参考) 青少年の体験・交流活動参加者数(市民会議主催事業)	人	目標値 実績値 達成率	— 480 —	— 514 —	— 514 —	— 514 —	
4			目標値 実績値 達成率					
5			目標値 実績値 達成率					

## 2 施策(基本事業)の振り返り

基本事業	(施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。)
青少年健全育成環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進員が中心となって子どもたちの安全で安心な活動場所の確保や様々な体験・交流活動の機会の提供及び青少年育成市民会議など社会教育関係団体を中心とした市民主体の活動を実施した。</li> <li>・基本的な生活習慣の意識づけとして「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダーを作成した。</li> <li>・関係機関・団体を中心とした市民主体の活動として、有害な情報や環境から守る浄化活動や青色防犯パトロール、子ども110番の家運動など見守り活動が実施された。</li> <li>・「ながら見守り啓発シート」を新たに作成し、市内の事業所へ配布することで、地域での見守り体制を推進した。</li> </ul>
青少年の地域活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルに関する家庭教育の強化として、家庭内で話し合いができるよう「わが家のスマホルール」カードを作成し、啓発を行った。</li> <li>・基本的な生活習慣の意識づけとして「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを表現した原画や標語を募集した。</li> <li>・小城市少年少女の声大会を開催し、青少年が日頃感じていることなどについての発表の場を設けた。</li> </ul>

## 3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進員が中心となって子どもたちの安全で安心な活動の場の確保や様々な体験・交流活動の機会の提供及び青少年育成市民会議など社会教育関係団体を中心とした市民主体の活動が行われているが、役員の固定化、高齢化等による会員の減少が課題となっている。</li> <li>・新型コロナを契機として生活様式や子どもたち、保護者らの意識も変化してきており、青少年の健全育成に向けた意識改革を図っていく必要がある。</li> </ul>
---

## 4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者が誰一人取り残されず、夢や希望を持って健やかに成長し、持てる能力を生かし自立・活躍できるよう、引き続き基本的な生活習慣を身につかせ、自然体験や社会体験など体験活動を通して豊かな人間性や社会性、チャレンジ精神を涵養し、生きる力を養わせていく。</li> <li>・活動の新たな担い手の確保・育成に向けて、子どもの安全を地域で見守る会など地域活動への参加を促し、人材発掘と育成に努めていく。</li> </ul>
--